

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 72 2010年8月

発行：日本信頼性学会
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11(財)日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9844
WWWホームページ <http://reaj.i-juse.co.jp>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会 第23回秋季信頼性シンポジウム 発表募集のご案内 《締切延期しました》

- (日 時) 2010年11月5日(金) 10:00~19:00《時間は予定です》
(会 場) 財団法人日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル
(主 催) 日本信頼性学会 (後 援) 財団法人日本科学技術連盟
(協 賛) 特定非営利活動法人安全工学会, 社団法人応用物理学会, 研究・技術計画学会, 社団法人電気学会,
社団法人電子情報通信学会, 社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会, 日本開発工学会,
社団法人日本機械学会, 社団法人日本経営工学会日本シミュレーション学会, 一般社団法人日本人間
工学会, 社団法人日本品質管理学会、一般社団法人プロジェクトマネジメント学会、IEEE Reliability
Society Japan Chapter

< 発表のおすすめ >

わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思えますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思えます。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、安心できる社会を築くことが重要であります。

ディペンダビリティ技術の発展のために、当シンポジウムで新しい研究・開発・適用事例・改善事例などの経験を発表いただくようお願い致します。優秀な発表に対して、優秀賞・若手奨励賞を贈ります。

< シンポジウム特集号のお知らせ >

各セッションの発表の中から優秀なもの1ないし2件を選出し、ショートノートあるいはケーススタディ（希望があれば原著論文としても受け付けます）としてシンポジウム特集号への投稿を推薦することになりました。この特集号は、通常よりも短い期間で審査を行います（ただし、原著論文の場合は審査に時間が掛かる場合があります）。

< 予定セッション構成 >

1. [組織, 管理, 規格, プロジェクト管理面]: 生産システム, 組織改革, 管理手法などの改善によって信頼性の維持・向上および保証を計った事例・管理手法適用事例, 人間信頼性, 社会との関わり, または新手法。
2. [試験, 故障解析, 部品, 要素技術の信頼性, ハードウェア面]: 部品又は機器レベルの設計・製造・試験・故障解析, 物性(接続, 接着, 腐食, 摩耗, 疲労, マイグレーションなど), 全ハードウェア一般の研究・開発・保証事例・改善事例。
3. [システムの信頼性, 保全性, ライフサイクルおよびソフトウェア面]: システムまたはソフトウェアの信頼性, 保全性, ライフサイクルコスト, リサイクル, リユース, 保全支援活動の設計, 解析, 保証事例・改善事例など。
4. [安全性, リスク]: 産業安全, 製品安全, リスク解析など。
5. [データ収集, 解析]: 情報システム・ネットワークのモニタ, 遠隔・多量・自動データ計測, ノイズ解析など高信頼システムの設計評価に係わるデータ観測収集技術, 新データ探索など。
6. [理論, 一般]: 基礎理論, 数学的技法, モデル化と統計的解析など。

< 参加費と発表者の特典 >

[シンポジウム参加費] 正会員・賛助会員・協賛学協会会員 3,000円, 非会員 4,000円, 学生 1,500円

[情報交換会参加費] 2,000 円 発表者・共著者は情報交換会にご招待いたします。

< 発表申込方法 >

- (申込方法) 「発表申込書」に発表概要を記載の上、電子メールにてお申し込み下さい。申込書の Word ファイルは学会ホームページ(<http://reaj.i-juse.co.jp>)にあります。または、下記用紙にご記入の上、FAXにてお申込ください。
- (申込期限) 2010年8月31日(火)まで **《 締切延期しました 》**
- (審査結果) 2010年9月7日(火)頃までにご連絡いたします。
- (発表原稿締切) 2010年10月4日(月)ワープロでA4判4枚
- (申込先) 日本信頼性学会事務局 FAX 03-5378-9844 E-mail: reaj@juse.or.jp

**日本信頼性学会 第23回秋季信頼性シンポジウム
発表申込書**

(申込期限 2010年8月31日)

申込日 2010年 月 日

題 目		希望 セッション (○印)	1 2 3 4 5 6						
発表者 (登壇者○印)									
勤務先									
連 絡 先	氏名				会員番号				
	勤務先								
	所在地	〒							
	e-mail:								
	TEL	()	-		FAX	()	-		

発表の概要

IEC ディペンダビリティ規格研究会 開催のご案内

信頼性、保全性及び保全支援の計画と管理を規定する国際規格IEC 60300 シリーズの適用に関する研究会です。会合は、月一回。いつからでも入会できます。

(日 時) 第 81 回 2010 年 8 月 24 日 (火) 18:30 ~ 21:00

第 82 回 2010 年 9 月 28 日 (火) 18:30 ~ 21:00

(場 所) 8月24日 / 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル 会議室

(JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分, 地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩7分,
都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩10分)

9月28日 / 日本科学技術連盟 東高円寺ビル 会議室

(地下鉄メトロ丸の内線東高円寺駅から徒歩5分)

(内 容) 保全性性能を確保するための中心的役割を持つ、保全性プログラムの適用の手引き、IEC60300-3-10: Maintainability の研究を行います。規格の翻訳とその内容の審議を行い、適用上の問題点を明確にし、最終的に訳文書と解説書を作成します。理解を広める上で必要な関連規格、60300-3-11: Reliability centered maintenance、60300-3-12: Integrated logistic support なども適宜調査します。前年度から継続中の 60300-3-9: Risk analysis of technological system の二次審議及び解説書のまとめを併行して行います。

この研究会は、これらの規格を正確に理解し、わが国の企業がこれらの規格を効果的に適用できるための検討を行い、会員に周知したいと考えています。新しい会員、特に、若手会員の参加を歓迎します。

(連絡先) 主 査 山内 慎二 (自宅)Tel/Fax 03-3948-7364

副主査 黒田 豊 (自宅)Tel/Fax 042-563-1501

LCC (Life Cycle Costing) 研究会 例会のお知らせ

国際規格 IEC 60300-3-3:Life Cycle Costing 2nd Ed. (2004) の英語版を教材として用い、輪読式に翻訳と内容検討、技術的関連事項の調査研究、適用事例収集を行いつつ、メンバー相互の研鑽に励んでおります。

原則として月一回の例会と春秋の発表会への参画、情報収集等 LCC ロードマップに沿った活動を行っております。新規参画歓迎。

(日 時) 2010 年 9 月 17 日 (金) 18:00 ~ 20:00

2010 年 10 月 29 日 (金) 18:00 ~ 20:00

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部 会議室

(JR 代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩 10 分, 地下鉄副都心線北参道駅から徒歩 7 分,
都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩 10 分)

(資 料) IEC 60300-3-3:Life Cycle Costing 2nd Ed. (2004)

(連絡先) 研究会主査 夏目 武 natsumetom@ybb.ne.jp

同 副主査 古野 紀雄 n-furuno@ct.jp.nec.com

山内 慎二 yamanouc@mbc.ocn.ne.jp

日本信頼性学会 関西支部 2010年度 第1回見学会のご案内

次の通り、日本信頼性学会関西支部の見学会を開催します。

会員の皆様は勿論、会員外の方々もお誘い合わせの上、是非多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

(日 時) 2010年10月15日(金) 14:00~16:30

(見学先) 音羽電機工業(株) 雷テクノロジーセンター (尼崎市潮江5丁目6番20号)

(集 合) 1階 玄関付近(13:50)

(交 通) JR尼崎駅 徒歩約10分

(内 容) 1. 会社紹介
2. 施設見学(高電圧試験設備, 複合インパルス試験装置など)
3. 講演「雷現象と雷対策について」

(概 要) 毎年夏になると発生頻度が高くなる雷ですが、年々実装は高密度化し半導体は高集積化で低電圧化するため、電子機器は雷サージ・ノイズの影響を受け易くなっています。あらゆる電気設備・機器から建物全てに及ぶ「外部・内部雷保護」に関して、半世紀以上に及ぶ豊富な経験を持つ音羽電機工業株式会社様は、日本唯一の「雷対策の総合メーカー」で8月8日のNHKテレビ「ルソンの壺」でも会社概要や超高压発生装置などが紹介されました。

今回の見学会は、音羽電子工業株式会社様の永年の技術を集大成されたユニークな雷試験設備を始めとした、各種試験装置を有する施設である雷テクノロジーセンターが見学できます。同施設では、雷対策製品の開発試験や各種電気機器の評価試験をおこなっており、JISやIEC規格に適合した各種受託試験も可能となっております。またとない機会ですので多くの方の参加をお待ちしています。

(参加費) 会員及び学生：無料 非会員：2,000円

(申込先) 日本信頼性学会 関西支部 事務局 [植村]
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25 中央電気倶楽部4階
(財)日本科学技術連盟 大阪事務所 内

Tel: 06-6341-4627 Fax: 06-6341-4615 E-mail: reaj-kansai@juse.or.jp

(申込方法) 氏名、会社名、所属、所在地(または自宅)、電話番号、メールアドレス、会員番号(会員の場合は一般と記入)を記入の上、上記宛先までお申込みください。

(申込締切) 2010年10月5日(火)

注: 参加人数は20名以内とします。同業他社の参加はご遠慮願います。

ソフトウェア品質シンポジウム2010 (SQiP2010)

(日 時) 2010年8月25日(水)~27日(金)

(会 場) 東洋大学(文京区白山5-28-20)

(主 催) (財)日本科学技術連盟

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(参加費) 日科技連賛助会員37,800円、一般39,900円

(連絡先) (財)日本科学技術連盟 教育推進部 第二課 ソフトウェア品質シンポジウム担当
TEL:03-5378-9813 FAX03-5378-9842 e-mail: sqip-sympo@juse.or.jp

詳細は、<http://www.juse.or.jp/software/173/> をご参照ください。

第2回知識構造化シンポジウム

- (テーマ) 先行各社が明かすSSM実践の考え方とその成果
(日時) 2010年9月3日(金) 13:30~17:00
(会場) (財)日本科学技術連盟千駄ヶ谷本部ビル(渋谷区千駄ヶ谷5-10-11)
(主催) (財)日本科学技術連盟
(協賛) 日本信頼性学会 他
(参加費) 3,500円
(連絡先) (財)日本科学技術連盟 教育推進部 第一課 SSM担当
TEL:03-5378-1214 e-mail: sqcsemi@juse.or.jp
詳細は, <http://www.juse.or.jp/> をご参照ください.

第3回横幹連合総合シンポジウム

- (日時) 2010年9月5日(日)~6日(月)
(会場) 早稲田大学 早稲田キャンパス
(主催) 特定非営利活動法人横断型基幹科学技術研究団体連合
(参加費) 会員6,000円(当日8,000円), 学生2,000円(当日6,000円), 一般12,000円(当日15,000円)
日本信頼性学会会員は会員金額で参加できます
(連絡先) 横幹連合 事務局(計測自動制御学会事務局内)
〒113-0033 東京都文京区本郷1-35-28-303
TEL & FAX:03-3814-4130 e-mail: office@trafst.jp
詳細は, <http://www.trafst.jp/symposium2010/> をご参照ください.

産業・化学機械と安全部門 研究発表講演会2010

「安全・安心を支える機械システム」発表募集

- (日時) 2010年11月26日(金)
(会場) 東京工業大学大岡山キャンパス 手島記念会議室L&S(目黒区大岡山2-12-1)
(主催) (社)日本機械学会
(協賛) 日本信頼性学会 他
(参加費) 会員5,000円, 非会員,000円, 学生員2,000円, 一般学生3,000円
日本信頼性学会会員は, 会員金額で参加できます.
(連絡先) (社)日本機械学会 産業・化学機械と安全部門 担当: 渡邊
〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
TEL:03-5360-3504 FAX03-5360-3508 e-mail: watanabe@jsme.or.jp
詳細は, <http://www.jsme.or.jp/event/201005/101126c.htm> をご参照ください.

平成22年度 圧力設備診断技術者評価試験・講習会および

平成22年度 設備等のリスクマネジメント技術者評価試験・講習会のお知らせ

【平成22年度 圧力設備診断技術者評価試験（レベル1・レベル2）】

（試験日）平成22年12月5日（日）

（場 所）東京 損保会館（レベル1・レベル2共）

大阪 大阪科学技術センター（レベル1・レベル2共）

（受験料）レベル1 評価試験 10,000円 レベル2 評価試験 12,000円

【平成22年度 圧力設備診断技術者講習会（レベル1・レベル2）】

（開催日）レベル1 平成22年10月28日（木）～10月30日（土）

レベル2 平成22年10月21日（木）～10月23日（土）

（場 所）レベル1 TKP日本橋ビジネスセンター

レベル2 LMJ東京研修センター

（受講料）レベル1 50,000円（会員） 66,500円（非会員）

レベル2 61,000円（会員） 77,800円（非会員）

【設備等のリスクマネジメント技術者評価試験】

（試験日）平成22年12月5日（日）

（場 所）損保会館

（受験料）12,000円

【設備等のリスクマネジメント技術者講習会】

（開催日）平成22年11月5日（金）～11月6日（土）

（場 所）大田区産業プラザ

（受験料）40,000円（会員） 50,000円（非会員）

（上記全ての連絡先）社団法人日本高圧力技術協会 担当：藤原

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-11 産報佐久間ビル5F

TEL:03-3225-3486 FAX:03-3255-3488

詳細は、<http://wwwsoc.nii.ac.jp/hpi/> をご参照ください。

第8回国際ウェザラビリティシンポジウム

（日 時）2010年10月14日（木）～15日（金）

（会 場）キャンパス・イノベーションセンター東京（港区芝浦3-3-6）

（主 催）マテリアルライフ学会

（協 賛）日本信頼性学会 他

（参加費）会員20,000円，シニア会員・学生会員5,000円，非会員30,000円

懇親会費は別途4,000円

日本信頼性学会会員は会員金額で参加できます

（連絡先）マテリアルライフ学会 8th ISW係

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-6-8

TEL:03-5695-6544 FAX:03-5695-1939 e-mail: mls@kt.rim.or.jp

詳細は、<http://wwwsoc.nii.ac.jp/mls/> をご参照ください。

第23年度笹川科学研究助成の募集について

【募集要項】

1. 学術研究部門

申請区分と研究対象領域

A〔一般科学研究〕

B〔海洋・船舶科学研究〕

2. 実践研究部門

研究対象領域

教育・学習・自立支援等を行う様々な組織・団体（NPOを含む）に所属する者またはグループが、その実践の場で抱える諸問題の解決のために行う研究

3. 募集期間

平成22年10月1日～平成22年10月15日＜必着＞

（連絡先）財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5F

TEL 03-6229-5365 FAX 03-6229-5369 E-mail: ssrc-jss@silver.ocn.ne.jp

助成額・募集対象者等詳細は、

<http://www.jss.or.jp/sasagawa/apply/apply.html> をご参照ください。

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
<u>IECディペンダビリティ規格研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	8/24		「信頼性」6月号
ソフトウェア品質シンポジウム 2010 (SQiP2010)	東洋大学 白山	8/25~27		http://www.juse.or.jp/software/173/
<u>日本信頼性学会関西支部 2010 年度第 1 回講演会</u>	中央電気倶楽部 大阪	8/26	8/25	「信頼性」6月号
講習会「自動車における 3 次元設計の現状と課題」	東京工業大学 大岡山キャンパス 大岡山	9/1		http://www.jsme.or.jp/event/201007/100901s.htm
第 2 回知識構造化シンポジウム	日科技連 千駄ヶ谷	9/3		http://www.juse.or.jp/
第 3 回横幹連合総合シンポジウム	早稲田大学 早稲田キャンパス	9/5~6		http://www.trafst.jp/symposium2010/
日本 OR 学会第 64 回シンポジウム 「チェンジの時代と都市の OR」	コラッセ福島 福島市	9/15		http://www.orsj.or.jp/nc2010f/sympo.html
<u>LCC研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	9/17		「信頼性」7月号
<u>IECディペンダビリティ規格研究会</u>	日科技連 東高円寺	9/28		「信頼性ニュース」8月号
第 5 回プロジェクトマネジメント学会主催国際会議 ProMAC2010	幕張メッセ国際会議場 及び東京ディズニーリゾート	10/12~15		http://www.lhweb.jp/promac2010/index.html
HPI 技術セミナー 第 8 回「事故から学ぶリスクマネジメント」	日本教育会館 千代田区一ツ橋	10/14~15		
第 8 回国際ウェアラビリティシンポジウム	キャンパス・イノベー	10/14~15		

	シオンセンター東京 港区芝浦			
日本信頼性学会 関西支部 2010年度 第1回見学会	音羽電機工業(株) 雷テ クノロジセンター 尼崎市潮江	10/15		
平成22年度 圧力設備診断技術者講習会(レベル2)	LMJ 東京研修センター	10/21~23		http://wwwsoc.nii.ac.jp/hpi/
第9回宇宙用半導体素子放射線影響ワークショップ (RASEDA-9)	高崎シティギャラリー 高崎市	10/27-29		http://www.cqst.osaka-u.ac.jp/RASEDA/
LCC研究会	日科技連 千駄ヶ谷	10/29		「信頼性」7月号
平成22年度 圧力設備診断技術者講習会(レベル1)	TKP 日本橋ビジネスセ ンター	10/28~30		http://wwwsoc.nii.ac.jp/hpi/
日本信頼性学会第23回秋季信頼性シンポジウム	日科技連 千駄ヶ谷	11/5	8/31	「信頼性ニュース」8月号
設備等のリスクマネジメント技術者講習会	大田区産業プラザ	11/5~6		http://wwwsoc.nii.ac.jp/hpi/
産業・化学機械と安全部門 研究発表講演会 2010 「安全・安心を支える機械システム」	東京工業大学大岡山キ ャンパス 大岡山	11/26	8/27	http://www.jsme.or.jp/event/201005/101126c.htm
Asia-Pacific International Symposium on Advanced Reliability and Maintenance Modeling 2010 (APARM2010)	Victoria University of Wellington New Zealand	12/2~4	6/15	http://msor.victoria.ac.nz/Events/APARM2010/APARM2010
平成22年度 圧力設備診断技術者評価試験 (レベル1・レベル2)	東京 損保会館(レベル1・レ ベル2共), あるいは, 大阪 大阪科学技術センター (レベル1・レベル2共)	12/5		http://wwwsoc.nii.ac.jp/hpi/
設備等のリスクマネジメント技術者評価試験	損保会館	12/5		http://wwwsoc.nii.ac.jp/hpi/
Asia-Pacific International Symposium on Advanced Reliability and Maintenance Modeling 2010 (APARM2010)	Victoria University of Wellington New Zealand	12/2~4	6/15	http://msor.victoria.ac.nz/Events/APARM2010/APARM2010